

ひとづくり ものづくり 知恵と技 こども競技大会

2月24日(日) 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター

豊橋の代表として、豊橋少年少女発明クラブからチーム・トヨッキーが参加しました。5人一組で参加し、長期課題と当日課題に挑戦しました。

選手宣誓



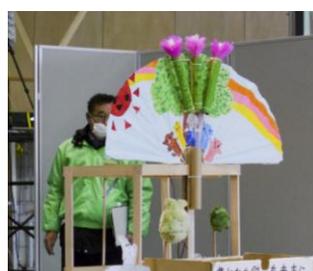
参加選手300人の代表として、チーム・トヨッキーが選手宣誓しました。

一人インフルエンザにかかってしまい、キャプテンの菅沼令奈さん、加藤里菜さん、尾崎恭兵くん、杉山歩夢くんの4人の参加になりましたが、大会委員長やモリゾー・キッコロの前で、堂々と宣誓ができました。



長期課題

あらかじめ制作したものを持って参加する競技で3.6m離れたところから「移動体」をぶつけることによって動く「からくりモニュメント」を制作して持っていきます。移動体が動き出したら、移動体やからくりには触ってはいけないルールです。



また、「豊かな自然を未来に」のテーマに従い、パフォーマンスをすることになっており、チーム・トヨッキーは、人間の知恵を形にした仙人が荒れた工場地帯を緑豊かな場所に変えるというストーリーを展開しました。

前の週に行ったココニコでの結果を生かして、からくりを改良したため、動作はとてもスムーズで、何の問題もなく最後まで作動しました。子どもたちの演技も堂々としたもので、最高のできばえになりました。

当日課題

当日、会場で問題が示され、その場にある材料で工作をする競技です。

今年の課題は、消しゴムの土台にストローをつないだものを2本立て、その高さや2本の先の距離を競うものでした。

競技場に入れるのは選手のみで、コーチも入れないので、競技の様子は子どもたちの言葉でしか知ることはできませんでしたが、短い時間でよくがんばったようです。

知恵と技 こども競技大会について

この大会は、愛知県だけでなく周辺の県や遠く沖縄などからも参加があり、今年で第6回になります。

ですが、この大会の理念を今後は全国少年少女チャレンジ創造コンテストに含ませるため発展的解消ということで、今年が最後となります。

豊橋からは、これが最初で最後の参加ということになりましたが、子どもたちは大変有意義な活動ができたと思います。



豊橋少年少女発明クラブ 二十四年度

発明クラブだより

号外

2013

3. 9

発明クラブホームページ：<http://www.t-hatu.jp>

発明クラブ事務局：info@t-hatu.jp